

『武安義光追想集』刊行のお知らせ

私が師と仰ぐ、武安義光前全剣連会長が亡くなられて丸3年となりました。

逝去されて1年余りが過ぎた令和4年の春、旧科学技術庁・全日本剣道連盟・赤門（東京大学剣道部OB）の関係者から自然発生的に、武安前会長の功績を称え後世に伝えるため追想集を刊行しよう、という空気が盛り上がり同年11月、有志による追想集刊行の発起人会をもちました。

以来1年3ヶ月、このほど『武安義光追想集』を刊行する運びとなりました。

私も刊行委員会のメンバーとしてとして、座談会「武安義光さんが遺したもの」に列座させていただいたほか、「我が国剣道の発展と武安義光氏の業績」「武安会長との思い出」「あとがき」の三題執筆いたしました。

特に「あとがき」には、武安先生が会長を退任される直前に、遺言とも言うべき、ご自身の終世の剣道観、「日本刀と竹刀『出藍の誉れ』」を吐露される場面に居合わせ、その鮮烈な内容を掲載いたしました。ぜひご購読のほどを。

このチラシは本日、全剣連HPに掲載されたほか、『剣窓』（4月号）にも掲載される予定です。

どうかよろしく願いいたします。

真砂 威

<https://www.kendo.or.jp/information/20240306/>